

第35回日本学生オリエンテーリング連盟総会議事録

日本学生オリエンテーリング連盟広報部

日時:2001年11月24日

場所:セミナーあいらす

出席:27校(遅刻の3校を含む)

委任状:3枚

1. 議長の選出
浜岡(岩手大)賛成多数により承認
2. 役員自己紹介
3. 2001年度(平成13年度)日本学連幹事選挙
事業部長井上和仁(筑波大4)
22 / 23 で承認
会計監査松永彩(相模女子大3)
23 / 23で承認
岡本健一(京都大2)
23 / 23で承認
4. 2002年度(平成14年度)日本学連幹事選挙
事業部長太田雄一郎(名古屋大2)
21 / 23で承認
5. インカレショート2002開催決議
来年度幹事長が決まらない為、開催決議を行えず。
6. 理事会活動報告
理事長より活動報告
7. 各委員会報告
 - 1) 2001年度インカレ実行委員会(青柳氏)
 - 2) 技術委員会(大西氏)
8. インカレ規約改正
 - 1) インカレおよびインカレショート実施規則改正案(大西氏)
計時方法の多様化(パンチングフィニッシュを容認)
裁定委員の交通費等の不支給
スタート方式の簡略化(プレスタートの省略を容認)
(質問) - 改正された場合いつから実施されるか?
改正された翌日づけて実施する。
賛成多数により承認
 - 2) インカレクラシック競技および男子リレー競技について(芳賀)
 - クラシック競技について

幹事の申し合わせ事項

- ・ インカレ参加者数900 人という数字を「努力目標」とし、参加者数の維持に努める。
- ・ 今後、インカレ参加者数が2 年連続で900 人を下回れば、その翌年度のインカレエリート数は、男子60 人、女子40 人とする。そうでない場合は、男子75 人、女子50 人とする。
- ・ もしも「男子60 人、女子40 人」での開催が決定した後、再び参加者数900 人のラインを2年連続で上回れば、再び枠を増加(男子75 人、女子50 人)する。
- ・ 現在の男子エリート枠のうち、各地区学連に配分される枠数「1」であるところを「2」に増やす。

(質問)

学連枠1 2 の処置について1 つ増えて何か変わるのか。

これは、現状のまま単純にエリート数を減らすと特に地方学連(現状では東海、中九四)の数が減ってしまい、インカレ参加への魅力が減少する事を防ぐための処置である。エリートを一部の学校に集中させないでできるだけ多くの学校にエリートを出してもらいたい、ということから考案した。しかし枠を3 にすると関東学連の枠数が激減してしまう。よって最小数の処置とする。

2 年連続とは、いつのインカレから数えるのか。

今年(2001)の愛知インカレから。賛成多数により承認

- 男子リレー競技について*幹事案・3 人制ウイニング50 分・4 人制ウイニング40 分

(質問)

リレーで、ショートコース×2、ロングコース×2 の組合せにするのはどうか。

リレーだとコースパターンを平等に割り振らなければならない。しかしコースパターンを多くするのは難しい。また、条件のそろそろ山もなかなか見つからない。よって取り入れることはできない。結果3 人制6 票4 人制18 票今回は意見を聞くのみ。規約改正については次回総会で。

9. 2001年度予算案について(金田)

- ・ 幹事活動費その他15 万 7 万
- ・ ユニバー援助金50 万(2 年100 万) 35 万(2 年70 万)
- ・ 新歓パンフ26万 0

予算案の承認について賛成多数により承認

10. 幹事会活動報告(芳賀)

活動報告書作成委員会の設置について

委員長よりあいさつ

新歓パンフについて

11. 各部局活動報告

12. 地区学連活動報告

13. 次回総会日程

矢板インカレの翌日3 月11 日14 諸連絡,その他

以上